

土木工事共通仕様書の改定について

国土交通省大臣官房技術調査課
技術管理係長 林 将宏

1 はじめに

土木工事共通仕様書は、国土交通省の地方整備局等が発注する工事契約において、工事請負契約書及び設計図書の内容について、統一的な解釈及び運用を図るとともに、その他必要な事項を定め、もって契約の適切な履行の確保を図るためのものとされています。

また、共通仕様書は、各建設作業の順序、使用材料の品質、仕上げの程度、施工方法等、工事を施工する上で必要な技術的要求、工事内容のうちあらかじめ定型的内容を盛り込んだものです。位置付けとしては、契約図書のうち設計図書に含まれ、契約書、特記仕様書、図面、工事数量総括表、現場説明書及びその質問回答書と整合

がとられたものでなければなりません。

平成25年度版土木工事共通仕様書の改定は、各種基準類との整合、及び利便性の向上を図るためのものとなっており、以下にその内容を紹介します。

2 各種基準類との整合

共通仕様書で引用している各種技術基準類のうち、前回の共通仕様書の改定から本改定に至るまでの間に改訂されているものに関して、その規定内容と仕様書における規定との間の整合を確認し、必要な修正を行いました。反映した各種基準類は、下表のとおりです。

また、同様に引用しているJISのうち、平成24年3月に改正されたJIS A 5308に合

No.	発行機関	対象技術基準名	改定年月
1	日本道路協会	道路土工－軟弱地盤対策工指針	平成24年8月
2	日本道路協会	道路土工－擁壁工指針	平成24年7月
3	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編 Ⅱ鋼橋編）	平成24年3月
4	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編 Ⅲコンクリート橋編）	平成24年3月
5	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編 Ⅳ下部構造編）	平成24年3月
6	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編 Ⅴ耐震設計編）	平成24年3月
7	日本道路協会	斜面上の深礎基礎設計施工便覧	平成24年3月
8	国土交通省	機械工事共通仕様書（案）	平成24年3月
9	国土交通省	非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋形状及びかぶり測定要領	平成24年3月
10	国土交通省	微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定要領	平成24年3月
11	環境省	水質汚濁に係わる環境基準	平成23年10月
12	厚生労働省	ざい道等建設工事における粉じん対策に関するガイドライン	平成23年3月
13	土木学会	コンクリートのポンプ施工指針	平成24年7月
14	地盤工学会	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説	平成24年5月
15	ダム・堰施設技術協会	ダム・堰施設技術基準（案）（基本解説編・マニュアル編）	平成23年7月

わせた改定を行いました。

例) 第1編 共通編 第3章 無筋・鉄筋コンクリート 3-6-4 打設

1. 一般事項

受注者は、コンクリートを速やかに運搬し、直ちに打込み、十分に締固めなければならない。練混ぜてから打ち終わるまでの時間は、原則として外気温が25℃を超える場合で1.5時間、25℃以下の場合で2時間を超えないものとし、かつコンクリートの運搬時間(練り混ぜ開始から荷卸し地点に到着するまでの時間)は1.5時間以内としなければならない。これ以外で施工する可能性がある場合は、監督職員と協議しなければならない。

なお、コンクリートの練混ぜから打ち終わるまでの時間中、コンクリートを日光、風雨等から保護しなければならない。

※下線箇所について改定

「土木工事施工管理基準及び規格値(案)」についても、同様に各種基準類の改訂に合わせた修正を行っています。

3 利便性の向上

条文番号の表記を、従来の「章－節－条」に加えて編の番号を付加することとし、同様に図表についても編番号を付けることにしました。

例) 第1編 第2章 第3節 第4条
盛土補強工の場合

H23年度版	H25年度版
2-3-4 盛土補強工 1. 一般事項 盛土補強工とは…	1-2-3-4 盛土補強工 1. 一般事項 盛土補強工とは…

4 写真管理基準(案)の改定

写真管理基準(案)については、これまでフィルムカメラを主体にした構成としてきましたが、現場の実態に合わせてデジタルカメラ使用を主とした基準に見直しました(フィルムカメラによる場合の基準については、暫定的に別紙として存続)。写真のサイズについては、有効画素数100～300万画素程度という目安を示しました。

5 おわりに

今後とも、各種基準類の改訂や技術動向、社会的同項等を踏まえて、適切な共通仕様書の改定を実施することとしています。